

先行的腎移植を希望して献腎移植登録する症例に関する評価基準と評価法 (2013年10月15日変更)

1. 先行的腎移植の申請と登録が適正に行われることを検証するため、評価委員会において、希望者の基本的情報と登録時からみて過去1年間3ポイントの検査データを確認し審査する。
2. 先行的腎移植希望者の献腎登録審査用データを漏れのないよう記入した EXCEL ファイルを送付し、適応基準に適合の判定を受けた上で日本臓器移植ネットワークに登録申請する。画像評価は不可逆性腎機能障害の評価に不可欠です。
3. 腎機能 (eGFR) の計算は、19歳以上は日本腎臓学会の推算式を、19歳未満は日本小児用に作成された推算式を用いる。腎機能評価法は、eGFR 推算式でなく実測 GFR (イヌリンクリアランス) を使用してもよい。
4. 急速進行性糸球体腎炎等の急激に腎機能が低下している症例を除き、慢性進行性に腎機能が低下し、申請時より1年前後で腎代替療法が必要となる症例を登録する。
5. 申請時の腎機能 (eGFR) は、成人では 15 mL/分/1.73 m²未満を、小児と腎移植後腎機能低下例では 20 mL/分/1.73 m²未満を目安とする。
6. 先天性腎尿路疾患 (CAKUT) からの不可逆性高度腎機能障害は半年以内の3ポイントのデータで申請可能とする。
7. 先行的献腎移植登録に不適切と判断されるデータ異常がある場合は登録を認めない。しかし、その後先行的献腎移植登録可能な状況になれば再申請することができる。

参考式

日本腎臓学会 eGFR 推算式

$$\text{eGFR (mL/分/1.73 m}^2\text{)} = 194 \times \text{Cr}^{-1.094} \times \text{年齢}^{-0.287} \quad (\text{男性})$$

$$\text{eGFR (mL/分/1.73 m}^2\text{)} = 194 \times \text{Cr}^{-1.094} \times \text{年齢}^{-0.287} \times 0.739 \quad (\text{女性})$$

日本小児腎臓病学会の eGFR 推算式 (19歳未満に適用)

$$\text{eGFR} = 110.2 \times (\text{reference serum Cr/patient's serum Cr}) + 2.93$$

Reference serum Cr は身長より以下の計算式で求める

$$\text{男児: } y = -1.259x^5 + 7.815x^4 - 18.57x^3 + 21.39x^2 - 11.71x + 2.628$$

$$\text{女児: } y = -4.536x^5 + 27.16x^4 - 63.47x^3 + 72.43x^2 - 40.06x + 8.778$$

複雑な計算式のため添付の EXCEL にて算出してください